

2021 年度 下 期
上

2022年 11月 18日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	むすびめ	
代表者名	長谷川その香	
連絡先	TEL : 080-6574-5138 FAX :	E-mail musubime1230@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	小学校から大学生まで、学生や若者のための学校・家以外の居場所運営。オンライン上での情報発信とそれらの活動に伴うスタッフへの支援
事業の目的	多様化した家庭環境や、複雑になっている学校教育では、子どもたちが個人として尊重される居場所が少なくなっているのではないかと。そのような考えのもと、学校・家以外の居場所をつくることにより、親や学校側がカバーしきれない問題を大学生が支え、学生や若者自身が尊重される場所を増やす目的があります。
事業の具体的内容	①居場所づくりのための学習室の開放、ワークショップやイベントの開催 対面、オンライン両方の場を利用し、それぞれの特性を生かした居場所づくりとそれに伴う情報発信を行います。 ②徳泉寺が運営する私設図書館「寺子屋文庫」のお手伝い 学習室やワークショップ等では関わりが持てない世代との交流や、その方たちの居場所づくりを支えるお手伝いをします。
活動の開始から完了までの流れ	〈2021.09~2021.12〉 冬に向けての学習室の準備と、SNSの運営方法の改善等を議題に週1回程度のミーティングを実施した。 12月頃に代表の体調不良と会員2名の退会があり、今後の活動について見通しが立たなくなりミーティング実施も難しい状況。 〈2022.01~2022.03〉 学習室等むすびめ単体でのイベント実施は難しいと判断し中止。むすびめの活動自体は続けることを決め、団体のペースに合う活動を模索するため月1回程度のミー

	<p>ディングを実施した。その結果、「居場所は人との関わりだけではないのでは」という考えのもと、読んだ人がそれぞれ身近にある居場所を発見するためのフリーペーパー「むすびめのおたより」作成を計画。</p> <p>〈2022.04~2022.07〉 フリーペーパー作成のため週に1回程度のミーティングを実施。「雨の日の自分の居場所」をテーマに、むすびめスタッフの読書紹介とテーマについてのコラムを記載したフリーペーパーを作成、発行。寺子屋文庫がある徳泉寺のほか、市内の学校にも設置した。</p> <p>〈2022.08~2022.09〉 9月発行予定のフリーペーパーを計画、作成。また、8月に開催された徳泉寺主催の「こどものつどい」にむすびめスタッフ1名が居場所づくりの手伝いとして参加。地域子どもたちとの交流を図った。</p> <p>むすびめの団体としての紹介チラシを作成。10月以降各施設に配布予定。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>本来予定していた活動ができず、課題点が多く残りました。一つは、学生のみボランティア団体運営の難しさがあります。生活の状況が変わりやすく、それぞれの生活を優先させながらボランティアをするという団体の共通ルールがあるため、大学でのテストがある時期や就職活動のためのインターンシップがあると団体の活動が難しくなることが多々ありました。しかし、これらを経験したことにより、自分たちができる範囲の活動ペースをつかむことができ、これからの活動のやり方の参考にすることができました。また、これから学生でボランティアを運営する団体にも参考になることが多く、今年の12月で3年目になる団体として、提供できる情報や運営のやり方を発信したいと考えることができました。</p> <p>二つ目は、外部からもらう助成金により団体を動かす初めての試みであったことです。これまで、自主資金のみで動いていた団体だったので、外部から資金を受け取るとは初めてでした。活動が滞ってしまったことで十分に活かせなかったことは残念ですが、自分たちの活動ペースを守るためにはより多くの資金をもらうよりも自分たちが管理できる資金を使って活動する方が合っているのではないかと考えることができました。資金を貰っても、自分たちの活動できる体制が整っていなければ十分に活用できないため、これからの資金運用の参考になりました。</p> <p>三つめは、対面とオンラインなどの「居場所」についての再発見です。子どもたちにとってのサードプレイスを用意することで、自分を振り返り、自分のやりたいことに向かって行動できる意欲を支える役割を果たした</p>

	<p>い、そしてそれを地域にも還元していきたいと考え、活動してきました。しかしスタッフ数の減少や就職活動が入ってきたこと、そしてコロナ禍という状況の中、対面やオンラインでの居場所づくりをすることが難しくなりました。そのとき、「スタッフにとってもこのむすびめで話せる場所は貴重」という話をミーティング内でしたことにより、生活を優先しながらも自分ができるペースでボランティアに参加することは可能で、それによりスタッフ自身にとってもむすびめは居場所になり得ることを発見しました。自分たちのペースを守りながら、居場所づくりを進められないかという考えから、フリーペーパー「むすびめのおたより」の作成を決定しました。人との関わりだけが居場所ではないのかもしれないという問いのもと、身近にある居場所発見のお手伝いを目的に作成し、むすびめの雰囲気感を多くの人に伝えるきっかけとなる媒体を作成することができました。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>この助成期間で実施したフリーペーパー「むすびめのおたより」は今後も作成を続け、読んだ人が自分の居場所を振り返り発見するお手伝いとして、そしてまだむすびめを知らない方へのアプローチとしても活用していきます。</p> <p>また、徳泉寺で行われた「こどものつどい」をはじめとした居場所づくりのイベントへの参加を続け、宮城県の居場所づくり事業へ貢献していきます。</p> <p>これまでうまくできなかった SNS の活用についても、この助成期間で得た自分たちの活動ペースを維持しながらできる活動を考え、実行していきます。</p> <p>徳泉寺にある寺子屋文庫について、ボランティアができるお手伝いや、本にまつわる情報の発信なども行っていきます。</p> <p>学生のみで運営してきたボランティア団体として、これから活動を始める団体への情報提供、またボランティアのあり方を模索して、もっと多くの人ボランティアに抵抗なく活動できるようスタッフへの支援も続け、スタッフの募集もかけることを予定しています。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	28,480 (申込時申請金額 : 256,000)	当初予定していた活動ができなくなったため、7月頃金額を変更、報告。
自己資金	3,000	会員人数が減少したため予定から減少。

合計	31,480	
----	--------	--

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
宣伝費	フリーペーパー制作×2 回分 計 5,701 円 むすびめ団体チラシ制作 1,980 円	9,000	7,681
スタッフ交通費	「こどものつどい」参加 2回(8/5,8/22) 萩が丘(バス)～仙台駅 前(バス) 往復 460 円	4,480	920
教材費	5冊×1回分	5,000	0
感染症対策予防費	対面でのイベント時使用	5,000	0
ワークショップ費	文房具費、ワークシート 印刷代等	5,000	0
合計			8,601

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

1 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

2 領収書のコピー(郵送)

3 成果物(活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

徳泉寺主催こどものつどい(8/5,8/22) 活動写真



むすびめのしおり

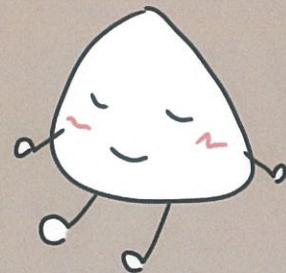
むすびめはこんな団体です

むすびめは、「ここにいてよかった」と思える場所を作ることを

目標にしているボランティア団体です。

スタッフも参加者も、むすびめが大切な場所になるような、

優しくてあたたかい居場所づくりを目指しています。



むすびめのこれまで

2019年12月30日

むすびめ設立

徳泉寺さんの同朋会館をお借りして、
学生を対象にお勉強したりのんびりお話し出来る
場所としてご利用いただいていた。

2020年8月

2021年12~2,8月

学習室の開催

2022年6月

フリーペーパーの作成・配布

2021年9月

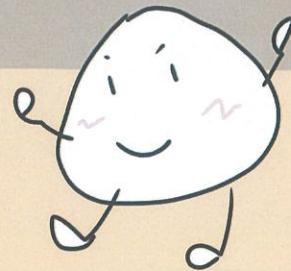
みやぎ生協福祉活動助成金採択

「雨の日の自分の居場所」をテーマとして
スタッフが書いた読書案内やコラムを載せた
フリーペーパーを作成しました。

むすびめの今

フリーペーパー

「人との関わりだけが居場所なんだろうか」。
そんな問いから生まれたフリーペーパー「むすびめのおたより」では、
ほっとできる居場所を身近な空間で発見するお手伝いをしています。



居場所づくりのお手伝い

徳泉寺で開催された「こどものつどい」など、
子どもたちの交流の場所を支えるお手伝いをしています。

むすびめのこれから

SNS の発信

むすびめではより多くの人に活動を知ってもらうため
Twitter、Instagram などの様々な SNS を運用しています。
これから先、対面と非対面の居場所を考える上で、
SNS の発信に力を入れていこうと考えています。

寺子屋文庫のお手伝い

徳泉寺の同朋会館にある寺子屋文庫では
絵本やマンガ、実用書など約 2000 冊の蔵書があります。
様々な年代の方が集まる憩いの場にしたいという
徳泉寺の方々の思いに共感し、本にまつわる情報の発信など、
これからもお手伝いを続けていきます。

ボランティアの在り方

学生だけのボランティア団体として、学業や就職活動など個人の活動と並行して
ボランティアをする難しさを実感してきました。
学生がボランティアをすること、その運営方法などに観点を当て、
これからも考え続けていきます。

スタッフを募集しています

むすびめでは、一緒に活動をしてくれるスタッフを募集しています。

- 宮城県で活動できる（県外在住でも要相談）
- 高校生～大学生
- 月 2,3 回程度のミーティング参加
- 一緒に考えていきたいという気持ちに共感できる人
- 自分に何ができるんだろう、と悩んでいる人

くわしくはホームページをご覧ください。

学生ボランティア団体「むすびめ」

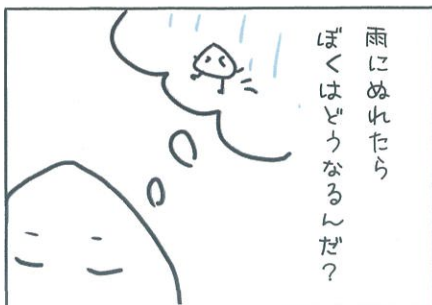
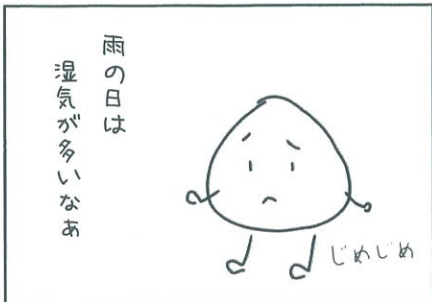


ホームページ QR

musubime1230@gmail.com

むすびんの日常

「雨にぬれたら？」



寺子屋文庫

徳泉寺境内にある私設文庫です。絵本や漫画、仏教書など約2000冊の蔵書があり、自由に閲覧することができます。自分の好きな本を持ち込んで読むこともできます。

毎週木曜日

10:00～12:00、14:00～17:00

第2、4日曜日 13:00～17:00

※行事等で開放できない場合もあります。詳しくは徳泉寺ホームページにてご確認ください。

むすびめ

大学生が運営する学生ボランティア団体。「ここにいてよかったな」と思えるような居場所づくりを考え、活動しています。これまでは徳泉寺の同朋会館をお借りして、学習室を実施していました。

徳泉寺HP



むすびめHP



おわりに

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。少しでもゆっくりできる時間を提供できたなら嬉しいです。

これからもゆっくりではありますが、あなたの居場所づくりのお手伝いができるよう、活動していきます！

むすびめのおたより

発行：2022年7月1日

「居場所って人との関わりだけなんだろうか？」

こんな問いが、むすびめのおたよりを発行するきっかけでした。人との関わりだけではない居場所はきっとあるはず。むすびめのおたよりでは、そんな身近にある居場所の発見をお手伝いします。

ぼくはむすびん！ むすびめの仲間なんだよ。
フリーペーパーを盛り上げていくから、よろしくね！



テーマ

雨の日の自分の居場所

雨の日は服が濡れて嫌な感じ。低気圧で頭も痛い感じ。だけどそんな気分を少しでも楽しみに変えてくれる、そんな本がありそうな予感？

むすびめスタッフが選ぶ
読書のすすめ

テーマのコラム

むすびめスタッフによる

気がめいってしまう雨の日は多いけれど、ちょっと工夫して、雨の日だけの自分のほっとする時間をつくるのもありかも！

テーマのコラム



ままもひと朝 ひと朝 ひと朝かぎり ふた朝 ふた朝かぎり…
うすむらさきの雨ふり花が咲き誇るでんでら野に、寂しい歌が響き渡る

小学六年生の少女ユカは旅先の旅館で座敷わらしの茶々丸と出会う。茶々丸がずっと探しているという少女と一緒に探すため、ユカと茶々丸二人の時空を越える旅が始まる。風に乗って過去へ飛び、雨のでんでら野で、歴史の中に消えていった人たちの存在を知る。

夏休みの不思議な体験は、ユカに死について考えるきっかけをもたらし、この出会いを通して成長を遂げていく。

命の重さと、生きることへの愛しさを描いた素朴で優しい物語。

雨ふり花さいた

末吉暁子・作
こみねゆら・絵
偕成社

バムとケロのちようび

ちようびなのに、そとは雨がふっています。バムはつまらなそうですが、ケロちゃんはどろんこあそびでおおはしゃぎ。バムは本をよむためおへやをきれいにそうじしますが、ケロちゃんがよごしてしまいます。2人でいっしょにおふろに入ったら、読書のためのじゅんびです。読書のためにはやっぱりおやつ。2人はこんがりドーナツを作りはじめます。

島田 ゆか・作
文 溪 堂



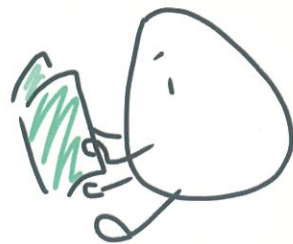
「バムとケロ」シリーズの最初のお話です。雨の日の読書にぴったりな一冊。子どもだけでなく、いっしょに読むだれかもバムとケロの日常にいやされたり、ワクワクしたりできるそんな本です。雨だけど、楽しく過ごしたい日にはぴったりです。この絵本をおもしろいと思ったら、ほかの「バムとケロ」シリーズもぜひ手にとってみてくださいね。

雨の日ははじめじめしてどこか憂鬱な気分になります。そんな時、私は朝湯船にゆっくりと浸かるようにしています。好きな入浴剤を入れて、好きな音楽をかけてお風呂に入る、お風呂から上がったら白湯を飲んでいつもより長めにストレッチをしてリラックスする、いつもより少し贅沢で幸せなひととき。

私は自分の居場所とは、空間や人との関わりだけではなくて自分の心が落ち着く、ほっとして気が抜ける瞬間を指すと思います。私にとっての雨の日の居場所は1人でゆっくりできる入浴の時間。何気ない時間だけど、忙しくてなかなか身体と心が休まらない日々の中で大切にしたい時間です。



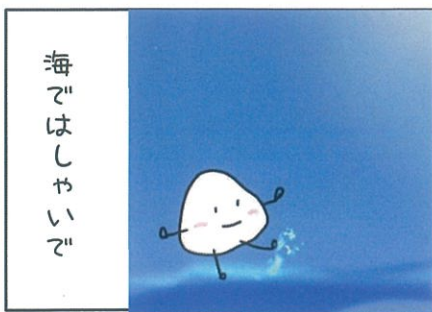
雨の日はよくお家にいるので時間を持て余しがちです。私はよく「ハリーポッター」シリーズを一番最初から読み返します。それなので、雨の日はよくホグワーツにいます。読んでいて、ホグワーツは結構はじめじめしてる感じなのかな、と思うことがあります。私も魔法を使いたいし、キドニーパイを食べたいし、ウィーズリーウィザードウィーズにも行きたいけど、はじめじめして埃っぽい寮生活だったらちょっと嫌だなあ……。でもホグワーツがあるのは「どこにもない場所」らしいので、実際行けば気候もなんだか魔法のような気候かも知れません。最近は何こうグッズ化やコラボ商品化も多くてなんだか食傷気味ですが、原作はやっぱり面白く感じます。ファンタジーは子どものためだけでなく、むしろ大人のためのジャンルでもあるのかなあ、とハリーポッターを読み続けた身として思います。今はどんなファンタジー小説が読まれているのでしょうか。



読書のすすめ

むすびんの日常

「むすびんの夏休み」



寺子屋文庫

徳泉寺境内にある私設文庫です。絵本や漫画、仏教書など約2000冊の蔵書があり、自由に閲覧することができます。自分の好きな本を持ち込んで読むこともできます。

毎週木曜日
10:00~12:00、14:00~17:00
第2、4日曜日 13:00~17:00

※行事等で開放できない場合もあります。詳しくは徳泉寺ホームページにてご確認ください。

むすびめ

大学生が運営する学生ボランティア団体。「ここにいてよかったな」と思えるような居場所づくりを考え、活動しています。これまでには徳泉寺の同朋会館をお借りして、学習室を実施していました。

徳泉寺HP



むすびめHP



おわりに

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。今年の夏はどんな思い出ができましたか？

これからもゆっくりではありますが、あなたの居場所づくりのお手伝いができるよう、活動していきます！

むすびめのおたより

発行：2022年9月21日

今月のテーマ

夏休みの思い出

夏休みはどんな本を読んだかな？

今月紹介するのは、思わず想像して楽しくなる2冊。

この夏に読んだ本のことを、いつか思い出すのかな。

むすびめスタッフが選ぶ

読書のすすめ

むすびめスタッフによる

テーマのコラム

夏休みに発見したこと、どんなことがあるだろう？

めまぐるしく変わる世の中で、

生活し続ける自分を振り返ってみよう。



むすびめの仲間
むすびん



むすびめのおたよりとは？

むすびめのおたよりは、大学生が運営するボランティア「むすびめ」が発行するフリーペーパーです。人との関わりだけではない居場所づくりを考え、むすびめのおたよりを発行しています。

みなさんにほっとできる時間を。ぜひ、お気に入りの飲み物と一緒に読みください。

れいぞうこのなつやすみ

村上しいこ・著 長谷川義史・絵 PHP研究所



夏の暑い日、冷蔵庫が故障してしまった！
おとうちゃんは「ビールが冷えてない！」となげいているし、たのしみにしていたアイスはどろどろ。おかあちゃんとおとうちゃんが言い争って点検をはじめると、突然でっかい目玉と口、おまけにしっぽまで生えてきた。

そして、夏休みをとってプールに行きたいと言いだしたのだ。

毎日家族のために精一杯働いてくれている冷蔵庫。冷蔵庫だって休みたいし、夏休みがあったっていいはず。関西弁のテンポ感と、エネルギーのある絵がマッチして、いきいきとした様子が伝わってくる。日常生活とファンタジーの世界が自然に入り交じり不思議な感覚に陥る。

こんな楽しい経験してみたいなど、読み終わったあと思わず冷蔵庫に話しかけたくなくなってしまふそんな1冊。もしかしたらあなたのお家の冷蔵庫も休みを欲して話しかけてくるかもしれない。

ぼくのニセモノをつくるには

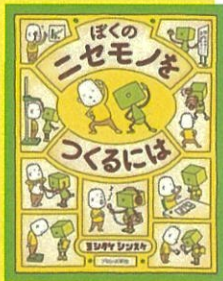
ヨシタケシンスケ・著
ブロンズ新社

宿題や部屋の掃除など、やりたくないことがたくさんあるぼくは、自分のニセモノを作ろうと考え、一体のロボットを購入する。

ロボットに「ぼく」としてふるまってもらうため、ぼくはロボットに自分や他人から見た自分について話す。

「自分のニセモノをつくる」という視点から始まる。しかし自分のことを分析するうちに、その存在は他の誰も代わりにはなれないと気づく。全員がそれぞれ固有の存在であり、複雑で様々な個性を持つ。

自分は何が好きで何が嫌いなのか、得意なことはなにか。知っていたつもりでも、もう一度見つめ直してみると知らない自分を見つけられるかもしれないと思わせてくれる。

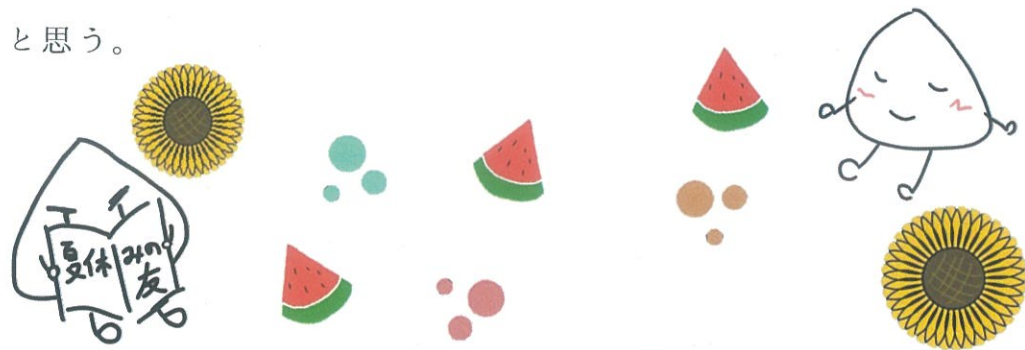


テーマのコラム

私の夏の思い出は、なんとな〜くの夜更かしをしたことだ。
他の人からしたら、「そんなことか」って思われるかもしれない。でも、こんな贅沢な時間の使い方は今しかできないと思う。

例えば、気になっていた映画やドラマを一気見したり、好きな音楽をひたすら聴いたり。夏休みの夜は果てしなく感じて、何でも出来るような不思議な気分になる。

そんな自分らしい、夏の過ごし方をもっと見つけていきたいと思う。



それぞれの季節には匂いがあるとここ最近確信をもって言えるようになった。その匂いが思い出を鮮明に残してくれる。夏の夜、花火をしたり、BBQをしたり、意味もなく散歩したり。何気ない出来事も綺麗な夏休みの思い出に変えてくれる。どんな匂いかは具体的には言葉に表現出来ないが、思い出に付いてくる匂いは、雰囲気や気温も含めて匂いに変わっているのだろう。私の夏の思い出はこの匂いを感じ取れるようになったことだと自分で思う。

読書のすすめ

